

## <北サポ通信>

新型コロナウイルス感染症の影響が2年以上続いております。大阪市では週明けの月曜日は低いものの、いまだに週平均400名前後の感染を確認しております。内服薬の承認も持ち越されている段階では、まだまだ感染対策を続けていく必要があると感じております。北サポの活動では「新型コロナウイルス感染症自宅療養者訪問看護利用フローチャート」の運用は継続し、オンライン診療医師からのご依頼で、4月に2件、6月に1件の訪問看護の調整を実施いたしました。今年度はコロナによる在宅看護・介護利用者への影響について、調査を行ってまいります。

医師会主催の6月北区在宅医療介護ネットワーク委員会では、事例検討として、2施設から各1例ずつご発表を頂きました。1例目は、独居の末期がん患者さんが多職種の支援を受けて在宅移行した事例で、本人の継続勤務意思の尊重や絶縁状態にある家族との連絡について考えさせられるケースでした。2例目の精神科で長年治療放棄の事例では、周囲の家族問題、警察介入によっても措置入院が困難であること、精神疾患患者さんを在宅管理する医療機関が限られていることなど、課題が多く、対応の難しさを認識した内容でした。両事例共に多くの参加者から貴重なご意見を頂きました。今後も適切な感染対策を行いつつ、オンラインを活用した委員会を行っていく予定です。また2年間休会していた、北区在宅医療・介護連携推進会議（北区役所主催）が漸く再開されることになり、地域の課題抽出に努め、よりよい方策を立てていくことに貢献できるよう活動していきたいと考えております。

内閣府「高齢者白書」では昨年に引き続き65歳以上の要介護者数は全区分で増加しており、特に75歳以上で割合が高くなっております。サポートが必要な状況になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、多職種で協力できる体制づくりを実現できるように努めて参ります。

今後とも、皆様にはご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

北区在宅医療・介護連携相談支援室  
コーディネーター：川田 雅子  
〈ご相談連絡先〉TEL 06-6948-6630  
FAX 06-6948-8956  
<http://www.kita-med.or.jp/kitasapo/>  
E-mail [kita-support@dune.ocn.ne.jp](mailto:kita-support@dune.ocn.ne.jp)